※令和４年度以降入学生用

学校番号	311

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	発展国語Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	「LT 現代文 1」(浜島書店)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古文から現代文まで、幅広く学習をします。
・「読む能力」だけでなく自分の考えを「書く能力」や相手に意見をわかりやすく「話す能力」や相手の主張を「聞く能力」も授業を通して身につけていきます。
・難しい内容の文章に出会った際は、「何度も繰り返し読む」「文章を分割して読む」など様々な方法を試してください。
・ノート等の提出物も評価しますので、積極的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

・様々な作品鑑賞、文章研究を通して、論理的思考力を養う。
・問題演習を通じて、優れた文章に親しみ、適切な理解力と、表現する能力を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、 我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元の学習内容</th><th rowspan="2">単元の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="9">一学期</td><td>表で比較して主張をとらえる
［教材］「わたし的には」の壁</td><td rowspan="2">a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。
b[話]：自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。
c：自己の在り方について考えを深め、話し合おうとしている。</td><td rowspan="4">提出物
定期考査</td><td rowspan="4">提出物
定期考査</td><td rowspan="4">提出物
ワークシート</td></tr>
<tr><td>具体例の役割を考える
［教材］・何のためのルール
・無表情なキャラクター</td></tr>
<tr><td>具体例と結びつけて考える
［教材］・便利なものは必要ない
・豆腐造り</td><td rowspan="2">a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解できている。
b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。
c：進んで筆者の価値観や主張を理解し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">情報の扱い方
［教材］・グラフ、図表の読み取り
・実用的な文章の読み取り

適切な情報を選択する
［教材］・植物がしたこと
・見えない心に想いをはせる
・畳の文化

表現の工夫をとらえる
［教材］梅雨の終わり</td><td rowspan="3">a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできている。
b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。
c：集めた情報の妥当性を検討しながら、理解を深めるために工夫しようとしている。</td><td rowspan="5">提出物
定期考査</td><td rowspan="5">提出物
定期考査</td><td rowspan="5">提出物
ワークシート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使えている。
b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。
c：進んで文章を読み進め、そこに込められた考えを理解しようとしている。</td></tr>
<tr><td>a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使えている。
b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</td></tr>
</table>

※令和４年度以降入学生用

		c：積極的に内容の理解を深め、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。			
	古典 ［教材］徒然草	a：　我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる。 c：進んで歌物語の特徴や表現の仕方を理解し、学習課題に沿って、描かれた内容を的確に捉えようとしている。			
	小論文 ［教材］評論文を読んで考える	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使えている。 b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にできる。 c：読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。	提出物	提出物	提出物 ワークシート
二学期	筆者の鑑賞の要点をとらえる ［教材］・直立せよ一行の詩 モネの美しい色彩の謎	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できる。 b[話]：目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討できる。 c：自己の考え方について思考し、話し合おうとしている。	提出物 定期考査	提出物 定期考査	提出物 ワークシート
	特徴的な言葉をとらえる ［教材］・スポーツの深い世界	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 c：進んで文章を読み進め、そこに込められた考えを理解しようとしている。			
	表現から人物像をとらえる ［教材］調律師の才能	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に内容の理解を深め、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。			
	筆者の主張と対照する ［教材］学びからの逃走	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 c：進んで文章を読み進め、そこに込められた考えを理解しようとしている。			
	言葉の特徴的な使い方をとらえる	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文			

※令和４年度以降入学生用

	［教材］世界の地平に立つスポーツ	章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできている。 b［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 c：進んで文章を読み進め、そこに込められた考えを理解しようとしている。			
	具体的な事例に当てはめる ［教材］抽象化して考える	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できる。 b［読］：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 c：進んで文章を読み進め、そこに込められた考えを理解しようとしている。	提出物 定期考査	提出物 定期考査	提出物 ワークシート
	筆者の考えの変容をとらえる ［教材］表紙からのメッセージ	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に内容の理解を深め、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。			
	表現の工夫をとらえる　２ ［教材］・父娘ピクニック ・「相手をしてくれる」メディア	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に内容の理解を深め、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。			
	古典 ［教材］平家物語	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解できている。 b［読］：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 c：進んで歌物語の特徴や表現の仕方を理解し、学習課題に沿って、描かれた内容を的確に捉えようとしている。			
	小論文 ［教材］表論文を読んで考える	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使えている。 b［書］：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にできる。 c：読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。	提出物	提出物	提出物 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	筆者のものの見方をとらえる ［教材］大沢崩れ	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[話/聞]：展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げ、深めている。 c：自己の考え方について思考し、話し合おうとしている。	提出物 定期考査	提出物 定期考査	提出物 ワークシート
	表で整理して主張をとらえる ［教材］子どもの哲学	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 c：進んで文章を読み進め、そこに込められた考えを理解しようとしている。			
	筆者の鑑賞の要点をとらえる ［教材］・悲しみ ・秋の夜	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に内容の理解を深め、学習課題に沿って叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。			
	図式化して考える ［教材］・言語における規範と創造 ・花も紅葉も…	a：：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできている。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 c：進んで文章を読み進め、そこに込められた考えを理解しようとしている。			
	古典 ［教材］源氏物語	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解できる。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できる。 c：進んで歌物語の特徴や表現の仕方を理解し、学習課題に沿って、描かれた内容を的確に捉えようとしている。			
	小論文 ［教材］表論文を読んで考える	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使えている。 b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にできる。 c：読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。	提出物	提出物	提出物 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　5　）時間

・書くこと　…　（　25　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間